

# 第2期花泉地区地域づくり計画

[計画期間 令和5年度～令和9年度 5ヵ年間]

わ わ  
和く輪くつながる花泉

～人と人との交流を目指して～



モリウシ希望ネット花泉

## は じ め に

地域協働体モリウシ希望ネット花泉が平成27年1月15日に名称が決まり、令和元年4月1日から一関市より「一関市花泉市民センター」の指定管理を受託しました。

平成28年にモリウシ希望ネット花泉としての「地域づくり5カ年計画」の第1期をスタートしました。今回第2期計画の策定にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第1期の地域づくり計画に於いては、6専門部体制にて、それぞれ活発な活動をしてきました。特に、皆様のお手元に配られた、「花泉 お宝・歴史マップ」や「企業紹介のリーフレット」は、地域の史跡や歴史を再認識され、企業紹介ではお店や事業所の利用に役立てていただくなど、一定の成果が得られました。

花泉小学校が統合され、残されたグラウンドの使用は可能ですが、体育館は使用できなくなる予定で、屋内での運動等は制限されることになります。コミュニティー活動の場所が少なくなりますが、工夫をしていきたいと思います。

岩手県の人口は流出超過で、当地においても例外ではありません。従来の活動を継承しながら、地域の活力向上の方策として、

1. 若者が気軽に参加出来る場の醸成
2. 他の協働体との連携活動
3. SNS等を利用した情報発信

など、スローガンとして掲げる「和く輪くつながる花泉」を具現化するための取組みを通し、地域づくり活動の拠点として指定管理にて運営する「一関市花泉市民センター」が地域の方々にとって使いやすい施設となり、そして活気溢れる地域にして参ります。

そのためにも、それぞれの方々が、自分の事と思い、ご協力の程お願いします。

モリウシ希望ネット花泉  
会長 三 浦 文 雄

# 目次

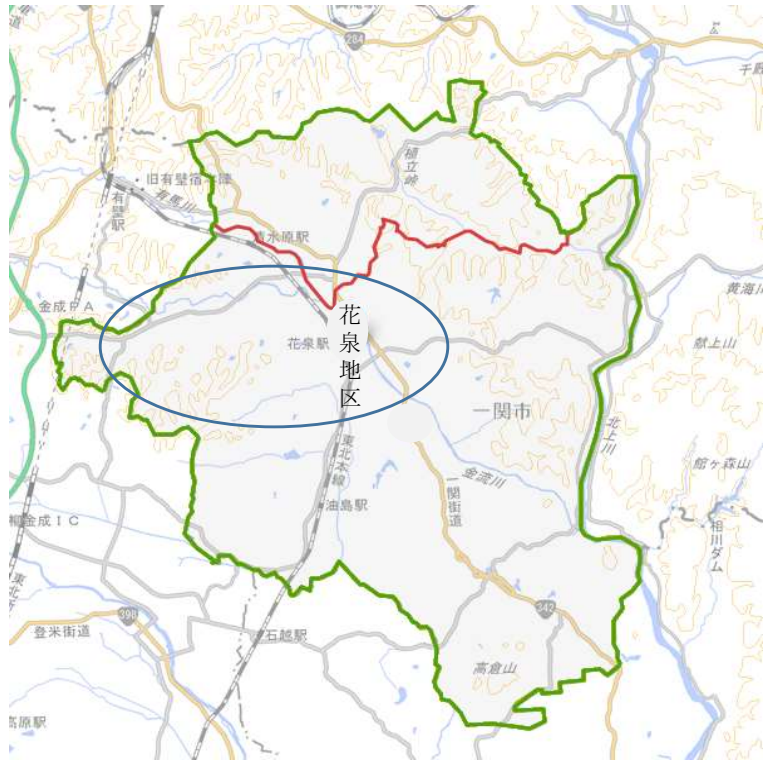
|                               |           |
|-------------------------------|-----------|
| <b>1、地区概況</b>                 | <b>1</b>  |
| (1) 地勢と概況                     |           |
| (2) 花泉地区の区割り                  |           |
| (3) 人口と世帯数                    |           |
| <b>2、地域協働体「モリウシ希望ネット花泉」沿革</b> | <b>3</b>  |
| (1) 設立の背景と目的                  |           |
| (2) 設立から現在までの経過(略歴)           |           |
| (3) 地域協働体の役割と位置付け             |           |
| <b>3、地域計画づくり計画について</b>        | <b>5</b>  |
| (1) 計画策定の趣旨と経過(第1期)           |           |
| ① 趣旨                          |           |
| ② 第1期地域づくり計画の策定経過             |           |
| ③ 第1期地域づくり計画の振り返り             |           |
| (2) 第2期地域づくり計画の策定             |           |
| ① 趣旨                          |           |
| ② 第2期地域づくり計画の策定経過             |           |
| <b>4、第2期花泉地区地域づくり計画</b>       | <b>10</b> |
| (1) 地域づくりの方針とスローガン            |           |
| (2) 計画の期間と推進体制                |           |
| (3) 地区の課題                     |           |
| (4) 重点的取り組み事項                 |           |
| (5) 継続的取り組み事項                 |           |
| (6) 年次別スケジュール                 |           |
| <b>5、参考資料</b>                 | <b>15</b> |
| (1) アンケート結果(概要)               |           |
| (2) モリウシ希望ネット花泉規約・構成図         |           |

# 1，地区概況

## （１）地勢と概況

花泉地区は、今から約2万年前に生息していた世界で初めて発見された大型野牛「ハナイズミモリウシ」の化石や、縄文時代の遺跡が点在しており古くから人々が生活していた地区です。

さらには、延暦20年（801）、坂上田村麻呂が北夷の折り、居城の仁桜城で霊夢に感じて朝早く西山に入り、2本の桜の木の所を剣で突き刺したところ清水が湧き出したことから、その泉を「花(華)立泉（清水公園内）」と名付けたことが「花泉」の名前の由来だと言われています。



安永風土記で「流郷」として著されている清水、金森、中村、奈良坂と明治23年に設置された「花泉駅」周辺の駅前地区の5地区で構成されている。岩手最南端に位置し、気候も温暖で平坦な土地柄であり、災害も少ないことから住みやすく、昔から水稻栽培を中心とした農村部として発達した。「なし」や「りんご」といった果樹栽培や野菜も盛んに栽培されています。

駅前周辺では、互市が毎年4月と11月に行われ、町内外から多くの人が集まり賑わっている。

地区内には、保育園、小学校、高等学校の教育機関や総合運動公園、宿泊型交流施設などの施設も整っている。また、金剛薬師如来像御生体や葛西塚などの指定文化財や埋蔵文化財宝蔵地など各地に貴重な歴史跡が点在している。

## （２）花泉地区の区割り

（令和4年3月31日付け住民基礎台帳より※外国人含む）

花泉地区は、かつての村の名残から、大きく5つのエリアに分けられ、行政区はさらに11に分かれています。自治組織としての集落公民館は14組織あり、行政区と集落公民館の範囲は必ずしも合致していないという特徴があります。

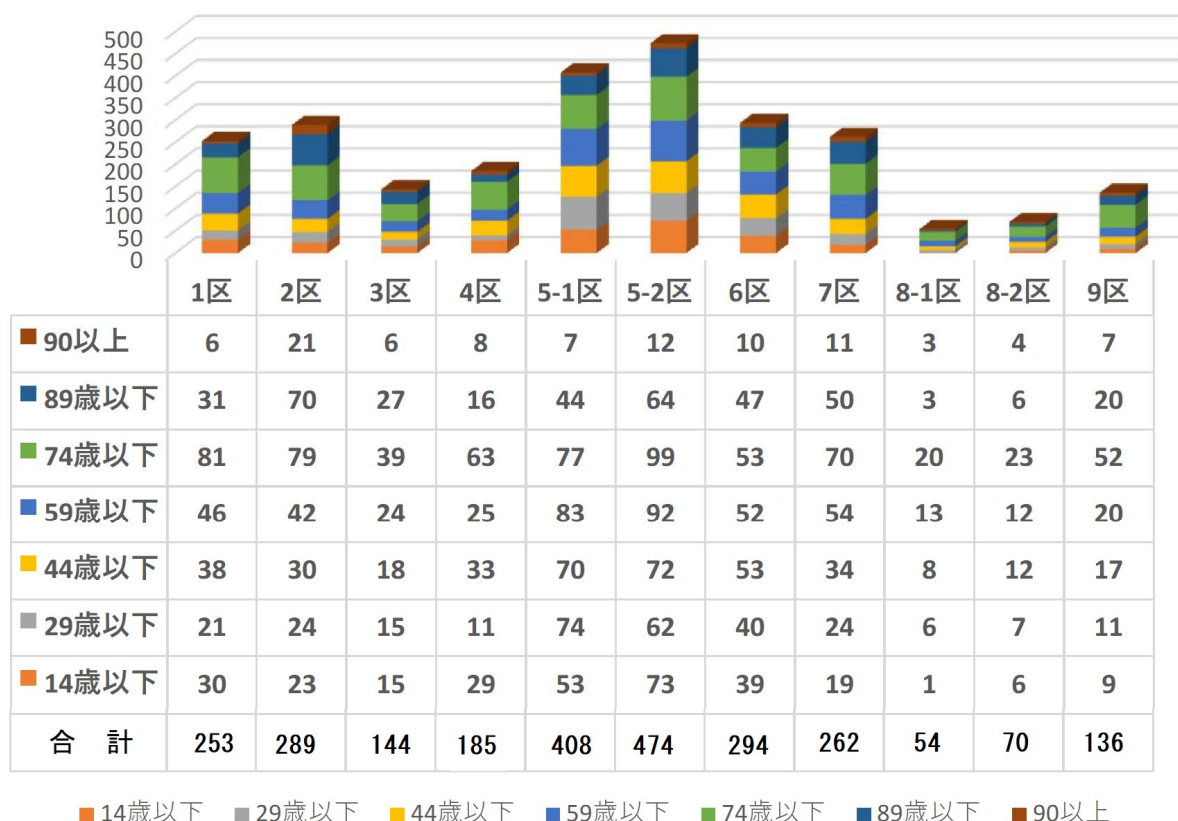
| 区域<br>(人口)      | 清 水 |     |     | 金 森 |     |     | 中 村     |     |       | 駅 前 |         | 奈 良 坂 |       |     |    |    |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|-------|-----|---------|-------|-------|-----|----|----|
|                 | 542 |     |     | 329 |     |     | 882     |     |       | 556 |         | 260   |       |     |    |    |
| 行政区<br>(人口)     | 1 区 |     | 2 区 | 3 区 | 4 区 |     | 5 - 1 区 |     | 5-2 区 | 6 区 | 7 区     | 8-1 区 | 8-2 区 | 9 区 |    |    |
|                 | 253 |     | 289 | 144 | 185 |     | 408     |     | 474   | 294 | 262     | 54    | 70    | 136 |    |    |
| 集落公民館<br>(自治組織) | 上在郷 | 清水原 | 清水  |     | 第3区 | 中金森 | 下金森     | 郷ノ目 | 上中村   | 下中村 | 花泉駅前町内会 |       | 小山沢   | 日向  | 西風 | 大又 |

### (3) 人口と世帯数

昭和25年から72年間で人口が1,221人減少した事に比べ、世帯数は371世帯増えていることから、核家族化がすすんでいる事がわかります。また、平成11年と比較すると、14歳以下の子どもの割合が15.87%から11.60%に減少、高齢化率は22.44%が36.60%と上昇しており、少子高齢化も進んでいます。行政区別では、各年代の割合に地域差が見受けられます。

#### ①行政区ごとの年齢別人口とその割合

(令和4年3月31日付け住民基礎台帳より※外国人含む)



| 区分                 | 1区    | 2区    | 3区    | 4区    | 5-1区  | 5-2区  | 6区    | 7区    | 8-1区  | 8-2区  | 9区    | 合計     |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 年少人口<br>(0~14歳)    | 30人   | 23人   | 15人   | 29人   | 53人   | 73人   | 39人   | 19人   | 1人    | 6人    | 9人    | 297人   |
| 割合                 | 11.9% | 8.0%  | 10.4% | 15.7% | 13.0% | 15.4% | 13.3% | 7.3%  | 1.9%  | 8.6%  | 6.6%  | 11.6%  |
| 生産年齢人口<br>(15~64歳) | 130人  | 120人  | 65人   | 82人   | 245人  | 261人  | 159人  | 136人  | 33人   | 35人   | 66人   | 1,332人 |
| 割合                 | 51.4% | 41.5% | 45.1% | 44.3% | 60.0% | 55.1% | 54.1% | 51.9% | 61.1% | 50.0% | 48.5% | 51.8%  |
| 老年人口<br>(65歳~)     | 93人   | 146人  | 64人   | 74人   | 110人  | 140人  | 96人   | 107人  | 20人   | 29人   | 61人   | 940人   |
| 割合                 | 36.7% | 50.5% | 44.5% | 40.0% | 27.0% | 29.5% | 32.6% | 40.8% | 37.0% | 41.4% | 44.9% | 36.6%  |
| 合計                 | 253人  | 289人  | 144人  | 185人  | 408人  | 474人  | 294人  | 262人  | 54人   | 70人   | 136人  | 2,569人 |
| 割合                 | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%  | 100%   |

#### ②人口・世帯数の推移

|        | S30     | S40     | S50     | S60     | H7      | H17     | H27     | R4      |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 人口     | 3,831人  | 3,506人  | 3,228人  | 3,434人  | 3,266人  | 3,297人  | 2,821人  | 2,569人  |
| 世帯数    | 669戸    | 742戸    | 813戸    | 878戸    | 904戸    | 1043戸   | 1010戸   | 1007戸   |
| 1世帯当人口 | 5.73人/戸 | 4.73人/戸 | 3.97人/戸 | 3.91人/戸 | 3.61人/戸 | 3.16人/戸 | 2.79人/戸 | 2.55人/戸 |

## 2, 「モリウシ希望ネット花泉」沿革

### (1) 設立背景と目的

(「モリウシ希望ネット花泉」設立総会における設立趣意書より)

花泉地区は、里山と田園と商業・住宅地がバランスを保ち、緑豊かな穀倉地帯として発展を続けてきました。住民同士のふれあいも強く、子供たちの健全育成にも熱心な地区です。

しかし、国内では、少子化・高齢化及び人口減少の進行や、価値観の多様化などによる地縁関係の希薄化など、社会環境は大きく変貌しております。

このことは、花泉地区でも同様であり、地域活動への参加者の減少や高齢者の孤立化、子供たちの居場所づくり、あるいは防犯・防災の取り組みなど様々な課題を抱えております。

花泉地区としても、行政と協働を図りながら、集落公民館等をはじめ、様々な活動団体と住民及び企業が互いに協力してネットワークを構築し、地域共通の課題の解決に努めることにより、光輝く希望に満ちた地域社会を実現することを目的とし、地域協働体である「モリウシ希望ネット花泉」を設立いたしました。

### (2) 設立から現在までの経過 (略歴)

|                     |                                                                                 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 平成22年12月            | 一関市が「一関市協働推進アクションプラン」を策定                                                        |
| 平成26年3月             | 一関市が「一関市地域協働推進計画」を策定<br>※地域づくりの進め方を「行政主導型」から「地域協働型」に転換<br>※「地域協働体」の設立が各地区で推進される |
| 平成26年6月～<br>平成27年1月 | 「花泉地区まちづくり協議会(仮称)」が発足し、地域協働体設立に向けた準備会として、構成員や名称、規約等の検討を重ねる(全7回の会議開催)            |
| <b>平成27年2月</b>      | <b><u>地区内の各種団体を構成員とし、地域協働体「モリウシ希望ネット花泉」を設立</u></b>                              |
| 平成27年11月            | 「モリウシ元気まつり」がスタート(旧公民館・福祉まつり)                                                    |
| 平成28年1月～3月          | 「地域づくり計画」策定に向け、5回のワークショップを開催                                                    |
| <b>平成28年6月</b>      | <b><u>「第1期地域づくり計画」策定</u></b>                                                    |
| 平成29年3月             | 6 専門部会設立<br>(産業振興・地域振興・安全安心・体育振興・文化伝承・生涯福祉)                                     |
| 平成30年9月             | 地区民運動会、初の室内開催を実施                                                                |
| 平成30年9月             | 公募により、モリウシ希望ネット花泉のロゴマークが決定                                                      |
| 平成30年11月            | 「モリウシ元気まつり」にて「軽トラ市」がスタート                                                        |
| <b>平成31年4月</b>      | <b><u>地域づくり活動の拠点として、「一関市花泉市民センター」の指定管理を受託。</u></b> モリウシ希望ネット花泉による市民センターの管理運営開始。 |
| 令和元年9月              | 公募により、モリウシ希望ネット花泉ロゴマークのキャラクター名称を「はなもん」に決定                                       |
| 令和2年10月             | モリウシ希望ネット花泉だよりで「企業紹介」スタート                                                       |
| 令和2年12月             | 「花泉 お宝・歴史マップ」 発行                                                                |
| 令和3年9月              | 「企業紹介」花泉地区全戸配布開始                                                                |
| 令和5年2月              | 「続・花泉お宝歴史マップ」 発行                                                                |



### (3) 地域協働体の役割と位置づけ

「一関市地域協働推進計画」では、地域協働体を以下のように説明しています。

- ・地域協働体は、**地域全体の地域づくりの調整、推進役となって、地域と行政の連携を強化**します。
- ・構成員は、一定の区域において、自治会(民区・町内会・集落公民館等)や地域の各種団体、NPO、企業など地域から幅広い参画を得ます。  
※各種団体の上部組織ではなく、**構成員による「円卓会議」のような組織**です。
- ・みんなが話し合う場を作り、「こんなまちにしたい」というような**地域の目標**を決めます。
- ・地域の課題を整理して、安全・安心、福祉、環境、文化、子育てなどの必要な取り組みを企画し、**地域や行政との役割分担により、地域づくり活動を展開**していきます。
- ・地域コミュニティを代表し、**行政と意見交換**を行います。
- ・**地域課題の解決を図る**ことや**行政と協働**することなどにより、**地域特性に応じた地域づくり**が進むことが期待されます。
- ・地域住民や各種団体等情報共有、連携、調整を行い、地域の特性を活かした地域づくりや公共的課題の解決に取り組むなど地域コミュニティの代表組織です。

上記の地域協働体のイメージを受け、花泉地区では、下記のように地域協働体を組織し、地域づくり活動の推進を行っています。

#### モリウシ希望ネット花泉の位置づけと役割



##### 構成員

- ・**地区内の住民、各種団体及び地区内に事業所等を置く法人**  
※総会は代議員制とし、地区内各種団体から推薦された者で構成  
※理事は別に定める地区内各種団体等の代表者をもって構成

##### 地域の目標

- ・平成28年に「**花泉地区地域づくり計画(第1期地域づくり計画)**」策定  
※各分野共通の目標を「**和く輪くつながる花泉 ～人と人との交流を目指して～**」というスローガンとして掲げた
- ・令和5年に「**第2期花泉地区地域づくり計画**」策定  
※目標(スローガン)は継続

##### 構成員による「円卓会議」

- ・第1期地域づくり計画においては、6部会制により、各部会の中での円卓会議を目指した。
- ・第2期においては、より良い「円卓会議」に向け、組織体制や仕組みの見直しを行う。

##### 地域づくり活動の展開

- ・地域づくり計画に基づき、部会を中心に各種事業を展開(「地域協働体活動費補助金(ひと・まち応援金)」の活用)。
- ・地域づくり活動の拠点として、「一関市花泉市民センター」の指定管理を受託。市民センター事業との両輪で地域づくり活動を推進。

##### 行政との意見交換

- ・行政が開催する市の施策に対するワークショップ等への参加(住民の派遣・推薦)や、花泉支所地域振興課との「チーム会議」の開催などを通し、地域の声を届けている。
- ・花泉地域の他地域協働体とも連携し(花泉地域協働体連絡協議会)、行政への提言等を行っている。

# 3，地域づくり計画について

## (1) 計画策定の趣旨と経過 (第1期)

### ①趣旨 (平成28年策定「花泉地区地域づくり計画(第1期計画)」より)

この計画は、花泉地区地域協働体「モリウシ希望ネット花泉」が、これからの協働のまちづくりを主体的に進めることを目的として策定したものです。

住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することにより、支え合いの仕組みが実現される住み良い地区社会の形成を目指して、平成27年2月に地区内住民及び各団体、事業所を構成員として「モリウシ希望ネット花泉」が設立されました。

その後、集落懇談会、地区住民及び各団体、事業所へのアンケート調査、5回のワークショップや理事会での協議を経て花泉地区の「あるべき姿」を地域づくり計画としてまとめたものです。

モリウシ希望ネット花泉では「和く輪くつながる花泉」を地域づくりのスローガンに掲げ、地区内における人と人との交流（コミュニケーション）を深めることを目指し、各分野における取り組みを進めて参ります。

【計画期間 平成28年度～平成32年度(5カ年間)】

※コロナ禍における活動の制限等もあり、実際には令和4年度まで第1期計画を使用

### ②第1期地域づくり計画の策定経過

#### 【策定に係る取り組み内容】

##### ■アンケート調査 (3種)

目的：地域住民・事業所の声の吸い上げ（紙面）

時期：平成27年10月～11月

対象と内容：下記3種類のアンケート調査を実施

①地区住民向け(中学生以上)

②地区内団体向け

③地区内事業所向け

##### ■集落懇談会

目的：住民の声の吸い上げ

時期：平成27年8月

対象と内容：清水、金森、駅前、中村、奈良坂の5地区にモリウシ希望ネット花泉役員等が出向き、地域で生活する上での課題等について伺った。

##### ■ワークショップ

目的：地区や集落課題の吸い上げ、課題解決方法についてのアイデア出し

時期：平成28年1月～3月

内容：下記テーマで全5回のワークショップを開催

①地区、集落の課題

②地区のあるべき姿、ビジョン

③・④課題解決

⑤地区の目標、項目別目標



## 【経過】

第1期計画策定に係る経過は以下の通り

|       |     |                                                                                     |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成27年 | 8月  | 集落懇談会 清水、金森、駅前、中村、奈良坂<br>全5会場 59名参加                                                 |
|       | 9月  | 第5回理事会（先進事例視察研修について、アンケート調査について）                                                    |
|       | 10月 | アンケート調査用紙発送<br>・全戸 一般世帯 975戸 2,925枚<br>・団体等役員 54件<br>・地区内事業所 46件                    |
|       | 10月 | 地域協働先進事例視察研修<br>場 所：奥州市稲瀬地区、北上市更木地区<br>参加者：理事、代議員、事務局 19名                           |
|       | 11月 | 第6回理事会（アンケート調査報告 ・ワークショップの開催について）                                                   |
| 平成28年 | 1月  | 第7回理事会（ワークショップについて・計画策定スケジュールについて）                                                  |
|       | 1月  | 第1回ワークショップ 参加者35名 役員5名<br>(テーマ：地区課題、集落課題)                                           |
|       | 2月  | 第2回ワークショップ 参加者30名 役員5名<br>(テーマ：地区のあるべき姿、ビジョン)                                       |
|       | 2月  | 第3回ワークショップ 参加者19名 役員5名<br>(テーマ：課題解決① 人と人との交流(コミュニケーション)/地域活動(コミュニティ)/くらし(生活))       |
|       | 2月  | 第4回ワークショップ 参加者19名 役員7名<br>(テーマ：課題解決② 福祉(高齢者、子ども、子育て)/安全、安心/文化(歴史、伝統)/スポーツ、仕事、産業、観光) |
|       | 3月  | 協働のまちづくりを考える集い<br>会 場：花泉町総合福祉センター<br>参加者：150名 地区内参加者：27名                            |
|       | 3月  | 第5回ワークショップ 参加者24名 役員5名<br>(テーマ：地区の目標(スローガン)、項目別目標)                                  |
|       | 3月  | 第9回理事会（地域づくり計画原案について・地域づくり計画集落説明会について）                                              |
|       | 4月  | 地域づくり計画(案)説明会 清水、金森、駅前、中村、奈良坂<br>5会場 55名参加                                          |
|       | 5月  | 平成28年度 第1回理事会<br>・総会の開催について・地域づくり計画について                                             |

### ③第1期地域づくり計画の振り返り

第1期地域づくり計画の推進にあたっては、6専門部会を置き、部会ごとの活動を進めてまいりました。各専門部における、平成28年度から令和4年度の主要な取り組みは以下です。

#### 【地域振興専門部】

- ・花泉地区の名所である「館山」の公園整備や花いっぱいのまちを目標に子ども教室と協力し、花いっぱいコンクールへの参加に力を入れた。
- ・また、市民センター隣の畑で野菜作りを行い市民センターまつりでの販売も行なった。

#### 【生涯福祉専門部】

- ・敬老事業、「ふれあい給食」など、高齢者支援に関する取り組みを花泉地区福祉協議会と協力して行った。また、令和2年度はコロナ禍で中止となった「ふれあい給食」の代わりとして、「ふれあいマスク事業」を部会が主体となり行った。
- ・毎月1日の「学校へ行ってみようデー」のあいさつ運動を継続し、行った。

#### 【安全安心専門部】

- ・通学路、害獣などの危険個所への看板設置。
- ・交通安全を呼びかけるのぼり旗の購入、設置など交通啓発運動。
- ・交通安全標語の募集。
- ・市民センターまつりでの交通誘導など、花泉地区の安全を考えてきた。

#### 【産業振興専門部】

- ・市民センターまつりで軽トラ市を行い、まつりを盛り上げた。
- ・地元企業、飲食店を知ってもらうための企業紹介を行った。広報への掲載や令和3年にはパンフレットを作成し、全戸配布した。

#### 【文化伝承専門部】

- ・令和2年度に花泉お宝・歴史マップ発行した。
- ・マップを活用し、講演会や市民センターまつりでのバスツアーを行った。
- ・「モリウシ元気まつり」を主管部会として開催。
- ・令和4年度には、「続花泉お宝・歴史マップ」を発行した。

#### 【体育振興専門部】

- ・地区民運動会を担当し、室内開催などの見直しを行った。
- ・ボッチャやフロアカーリングなどのニュースポーツの普及に力を入れた。

#### <課題>

第2期計画の策定にあたり、これまでの部会体制等の振り返りを行った際に、以下のような課題があげられました。これらの課題を踏まえ、第2期計画を策定します。

- ・縦割り……他の部会の動きや事業が把握できていない(連携できていない)
- ・地域への広がり不足……各部会の成果が地域住民に認識されていない。認知度が低い。
  - 一般住民など、関わりがない人には協働体の存在自体が認識されていない。
  - 広報紙だけではなく周知方法や、人の巻き込み方を検討する必要がある。
- ・部会員の限界(マンネリ化)……各部会への配置が、関連のある団体からの充て職になっているため、発展性が乏しい。
- ・PTA等との連携……統合後に花泉地区の保護者世代と連携がとれるのか、不安がある。

## (2) 第2期地域づくり計画の策定

### ①趣旨

協働のまちづくりを主体的に進めることを目的に、モリウシ希望ネット花泉では平成28年に「花泉地区地域づくり計画」を策定し、地域課題解決にあたっての指針としてきた。計画期間を5か年に設定していたことと、小学校の統合など、地域を取り巻く環境にも変化が生じてきていることを受け、これまでの取り組みの評価検証を行うとともに、新たな課題や社会情勢の変化に対応した「第2期花泉地区地域づくり計画」の策定を行う。

※第1期地域づくり計画は平成28年度～平成32年度の5か年間の計画期間としていたため、令和2年度までの計画ということになるが、平成31年度に花泉市民センターの指定管理を受託し職員体制が一新、令和2年以降はコロナ禍で活動を大きく制限せざるを得なかったことなどから、第1期地域づくり計画を掲げての取り組みを続けながら計画の見直しを行い(令和3年度末～令和4年度にかけて)、令和5年度より「第2期花泉地区地域づくり計画」を掲げることとした。

【計画期間 令和5年度～令和9年度(5カ年間)】

### ②第2期地域づくり計画の策定経過

#### 【策定に係る取り組み内容】

#### ■アンケート調査(4種)

目的：地域住民の声の吸い上げ(紙面)と地域参画への意識醸成

時期：令和4年6月～7月

対象と内容：4種類のアンケートを実施(各詳細はP15 - P17参照)

#### ■住民懇談会

目的：協働体及び地域づくり計画の活動報告(説明)及び理解促進と、住民の声の吸い上げ(対面)

時期：令和4年7月

対象と内容：清水、金森、中村・駅前(合同)、奈良坂、4会場にてモリウシ希望ネット役員が出向き、これまでの事業報告を行うとともに、地域で生活する上での課題等について懇談を行った

#### ■ワークショップ

目的：第1期地域づくり計画の評価(振り返り)と、第2期地域づくり計画策定にあたって、組織体制の在り方や優先的取り組み事項等の合意形成を図る

時期：令和4年10月～12月(全3回)

対象と内容：6部会の部員を対象に、以下のテーマで3回のワークショップを行った。

<第1回>モリウシ希望ネット花泉が5年間でもたらしたこと

<第2回>今後5年間で重視すること

<第3回>今後5年間の組織の在り方

## 【経過】

第2期計画策定に係る経過は以下の通り

|      |           |                                                                                                |
|------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和3年 | 2月        | 部会毎に第1期での取り組み内容について振り返りを実施                                                                     |
|      | 8月～<br>9月 | 部会毎に意見交換会の実施<br>(2月に実施した各部会の振り返りを元に、他部会の事業や、全体的な課題について意見交換)                                    |
|      | 12月       | チーム会議(花泉支所地域振興課、いちのせき市民活動センター等の第3者も交えた戦略会議)にて、計画の見直し方法やスケジュールについて再検討<br>※以後、定期的にチーム会議を持ちながら、実施 |
| 令和4年 | 2月        | 令和3年度第1回専門部長会議<br>(第2期地域づくり計画策定に向けた進め方について検討)                                                  |
|      | 3月        | 令和3年度第2回専門部長会議<br>(第2期地域づくり計画策定に係るアンケート調査について、組織の見直しについて)                                      |
|      | 4月        | 令和3年度第3回専門部長会議<br>(部会・組織の見直しについて)                                                              |
|      | 5月        | 令和3年度第4回専門部長会議<br>(令和4年度の事業について)                                                               |
|      | 5月        | 令和4年度定期総会にて地域づくり計画見直しを行うことを承認                                                                  |
|      | 6月        | 令和4年度第1回チーム会議<br>(アンケート調査や住民懇談会などについて)                                                         |
|      | 6月～<br>7月 | 行政区長、集落公民館長、モリウシ希望ネット花泉構成団体、老人クラブ、花泉小学校PTAを対象に、それぞれアンケート調査を実施                                  |
|      | 7月        | 全4回の「住民懇談会」を開催<br>(モリウシ希望ネット花泉のこれまでの取り組み報告、課題の吸い上げ)                                            |
|      | 10月       | 第1回ワークショップ<br>(テーマ：モリウシ希望ネット花泉が5年間でもたらしたもの)                                                    |
|      | 11月       | 第2回ワークショップ<br>(テーマ：今後5年間で重視すること)                                                               |
|      | 12月       | 第3回ワークショップ<br>(テーマ：今後5年間の組織の在り方)                                                               |
| 令和5年 | 2月～<br>3月 | 合同部会にて計画の素案について協議                                                                              |
|      | 3月        | 理事会にて計画の素案について協議                                                                               |
|      | 4月        | 臨時総会にて計画の承認                                                                                    |

## 4，第2期花泉地区地域づくり計画

### (1) 地域づくりの方針とスローガン

第1期地域づくり計画では、「和く輪くつながる花泉」というスローガンのもと、「ワクワクするようなイベント」の開催などを通し、地区の人々の絆がしっかりと結び合い、和み合い、集落同士の繋がりが、地区全体の繋がりが広がっていくような姿を目指して事業を行ってきました。

このスローガン自体にはゴールはなく、半永久的に花泉地区が目指し続ける姿であると考え、第2期花泉地区地域づくり計画においても同スローガンのもとに事業を展開していきます。

また、サブスローガンである「人と人との交流を目指して」も同様に、各種事業の共通目的として掲げていきます。



**和く輪くつながる花泉**  
～人と人との交流を目指して～

### (2) 計画の期間と推進体制

社会情勢の変化や、当地区を取り巻く環境もめまぐるしく変化する近年、地域課題も常に変化しています。新たな課題に対し、タイムリーに向き合うためには、定期的に地域課題を点検する必要があると考えています。

そのため、本計画は5か年の計画とし、以下の日程で第3期計画に向けた見直しを行います。

【計画期間】 令和5年度～令和9年度（5か年）

【見直し時期】 令和9年度（令和10年度より第3期計画で事業推進）

なお、第1期計画の推進に当たっては、部会制(平成29年度より設置)で各種事業に取り組んできましたが、第2期計画作成に向けて開催したワークショップの中で、部会体制や組織の在り方を見直すべきという声が多数あがり、女性や若い世代などを巻き込んでいくような仕組みが必要だという意見も多かったことから、以下のように体制を再構築する期間を設け、その結果をもとに事業を推進していきます。

【令和5年度】 ・既存部会は休会(もしくは最低限の開催)とし、各事業は地域住民有志等で行う。  
・「組織体制の見直し」を最優先事業とし、部会体制も含めたモリウシ希望ネット花泉の組織体制の見直しを行い、令和6年度以降の体制を構築する。

※令和5年度の理事の部会長枠については、臨機応変に対応する。

【令和6年度～】 ・令和5年度に検討し、再構築した体制のもと、事業を推進する。  
・再構築した体制は、本計画にも追記する。

### (3) 地区の課題

令和4年度に行ったアンケート調査や集落懇談会、計画見直しに係るワークショップ等を通し、花泉地区住民の「花泉地区での暮らし」における課題を吸い上げました。その内容を以下のようにまとめます。

#### ■コミュニケーションの希薄化

集落内、近所同士のコミュニケーションは希薄になっていく一方であり、コロナ禍でさらに深刻化した。生活様式の違いなどから、家族間でのコミュニケーションすら希薄になってきており、本来であれば家庭内で伝承されるような様々な知識・技術の継承がなされず、地域全体としても、伝承されるべきもの(地域運営の仕組み、地域の歴史、故郷の味、伝統芸能、農業技術等)が後世に残っていくか、危うい状況になりつつある。

#### ■人口減少による集落・組織運営の限界

少子化や若者の流出などにより、日常生活を支えるための各種組織(集落公民館等)における役の成り手不足が深刻化している。また、人口減により集落の財源も乏しくなる中で、これまで維持してきた施設や設備などの老朽化も進み、集落公民館等の維持運営に限界が生じつつある。コミュニティ活動を行っていくための環境が整わなくなること、集落等で担ってきたことが担えなくなる可能性が危惧される。

各種団体においても同様で、人口減や価値観の変化による会員不足、役の成り手不足により、活動の継続が困難になりつつある。これまで担ってきた事業や上部組織との関係性を整理していくなど、今後の在り方を検討していかなければいけない岐路に立たされつつある。

#### ■花泉小学校閉校に伴う「地域概念」の変化への不安

花泉小学校が閉校することで、地域住民と花泉地区で暮らす子どもたちとの関わりは薄れていくことが明白。また、これまで子どもたちを通して関わりを持っていた親世代と関わりを持つことも容易ではなくなる。

子どもたちや親世代が「花泉地区」を意識する機会が減り、「地域愛」のようなものが持ちにくくなった時、今後の「花泉地区」を担っていく世代を育成していけるのか、不安がある。

#### ■個々の暮らしを取り巻く「不便さ」

高齢者のみ世帯が増加する中で、公共交通の不十分さから、高齢ドライバーが増加している。買い物、病院など、徒歩での利用は不可能である世帯が多く、公共交通の不便さをカバーするサービスが不可欠だが、現状では高齢者のみ世帯等が暮らしを維持していくためのサービスはごく限られたもののみ。個々の暮らしすらままならない中では、集落や地域のことを考えることは難しい。

なお、高齢者世帯に限ったことではなく、未婚者や単身世帯も増加する中で、地区内の多くの家庭が、今後の暮らしを取り巻く様々な不安を抱えている。

#### ■空き家・耕作放棄地の増加

空き家や、継承者不在の農地などは年々増加しており、今後も増え続けることが予想される。農地に関しては、中山間組織等がなんとかカバーしている現状だが、労働力が減少していく中で、今後については見通しが立たない。空き家に関しては、利活用のニーズがないわけでないものの、所有者が放置したり、継承者不在状態になってしまう物件もあり、防犯上の危険も危惧される。



## （４）重点的取り組み事項

（３）の当地区における課題を受け、第２期計画では以下を重点的取り組み事項とし、より良い花泉地区を目指していきます。

### ① 「やってみっぺし」と動ける機動的な体制づくり

若い人や女性など、これまで巻き込みが不十分だった層の声に耳を傾け、「やってみたい」という提案を前向きに受け入れられるような機動力のある体制を構築していきます。

そのために、既存の部会体制を見直し、必要に応じて組織全体の構成も見直すことで、持続可能で発展性のある「モリウシ希望ネット花泉」を目指します。

### ② 住民の意識改革につながる次代のリーダー育成

地域住民が「花泉地区」としての地域づくり活動に必要性を感じ、一人一人がその一助を担うような意識を持つことが今後の地域づくり活動には不可欠です。そうした意識改革には、次代のリーダー世代を育成していく機会が必要であり、次代のリーダー世代の働きかけが地区全体に影響を及ぼすものと考えます。

次代のリーダー世代の発掘・育成につながるような機会を積極的に創出していきます。

### ③ 地区内既存団体への「補完」体制の再構築

花泉地区には「花泉公民館」時代から地域づくり活動を担う各種団体が存在し、モリウシ希望ネット花泉はそうした団体の「補完」を行うことが組織の存在意義の一つとも言えます。

地区内既存団体の在り方や今後の展開に向き合い、それぞれの団体に寄り添った「補完」の在り方を検討・再構築することで、花泉地区の持続可能性を高めていきます。

### ④ 積極的な情報発信で、オープンな地域協働体へ

これまでは広報紙を中心とした情報発信を行ってきましたが、上記①②の推進にあたっては、モリウシ希望ネット花泉の存在や取り組み等を様々な年代層に周知していくことが必要不可欠です。

そこで、これまでの広報紙での情報発信に加え、インターネットを介した情報発信等にも取り組み、より地区住民にとって身近でオープンな地域協働体を目指します。

## （５）継続的取り組み事項

（４）の重点的取り組み事項に加え、第１期計画でも取り組んできた下記事業にも継続的に取り組み、「人と人との交流」に溢れる花泉地区を目指していきます。

### ■「賑わい」の創出

高齢化や人口減少、小学校の統合などにより、地区全体に活気がなくなりかけています。かつては賑わいを見せた商店街はじめ、館山公園や市民センター、増加しつつある空き家なども地区内の資源と捉えて活用し、花泉地区で育つ子どもたちと接点を持つ機会や、各種世代が集う機会を創出することで、地区に賑わいをもたらすとともに、「暮らし続けたい地域」「帰りたい地域」「住んでみたい地域」を目指します。

取り組み例） モリウシ元気まつり、館山公園の整備・活用、地区内企業との連携事業 等

### ■「地域の歴史・知識」の伝承

当地区には歴史資源や伝統芸能等もあります。それらを次世代にも引き継いでいくために、歴史資源等の発掘・整理につながる取り組みを行い、広く地域住民に共有(周知)していくことで、地域全体で伝承の機運を高めていきます。また、伝承活動を世代間交流の機会にもつなげていくことで、「人と人との交流」も生み出します。

取り組み例） お宝マップの活用 等

### ■「安心安全な暮らし」の仕組みづくり

高齢者世帯や一人暮らし世帯の増加や、小学校の統合により、地区内の「安心安全」が大きく変化しています。特に交通に関する問題は深刻で、小学生においては通学路の安全確保、高齢者等においては公共交通の不足が目下の課題です。全ての世代が安心安全に暮らすために、支え合いの仕組みづくりや、見守りの体制を築いていきます。

取り組み例） 福祉推進協議会・交通安全協会等との連携、通学路の見守り体制の検討 等

### ■ 集落規模では担えない課題への対応

当地区には集落公民館や農家組合、中山間組織等、集落レベルでの暮らしを支える組織も存在しています。しかし、少子高齢化等により、既存の枠組みの中では解決が困難な課題も増え、それらの課題にはより広域な対応が必要です。

担い手不足が深刻化する各種役職の見直しや、未婚者問題など、集落規模では担えない課題に向き合うことに注力していきます。

取り組み例） 集落公民館等連絡協議会との連携、研修機会(視察研修含め)の創出 等

## (6) 年次別スケジュール

(4)(5)を以下のスケジュールを目安に取り組んでいきます。

なお、実際の取り組みに当たっては、年度毎に当該年度の事業計画を作成し、P D C Aサイクルでスローガンや目標の達成を目指します。

検討 = ■ / 実行 = ○ / 準備 = △

| 事業名                                                     | R<br>5 | R<br>6 | R<br>7 | R<br>8 | R<br>9 | 備考 |
|---------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 「やってみっぺし」と動ける機動的な体制づくり                                  | ■      | ○      |        |        |        |    |
| 住民の意識改革につながる次代のリーダー育成                                   | △      | ■      | ○      |        |        |    |
| 地区内既存団体への「補完」体制の再構築                                     | △      | ■      | ○      |        |        |    |
| 積極的な情報発信で、オープンな地域協働体へ<br>・ SNS の開設・運用<br>・ ホームページの開設・運用 | ○<br>■ |        |        |        |        |    |
| 「賑わい」の創出<br>・ モリウシ元気まつりの開催<br>・<br>・                    | ○      |        |        |        |        |    |
| 「地域の歴史・知識」の伝承<br>・ お宝マップの活用                             | ○      |        |        |        |        |    |
| 「安心安全な暮らし」の仕組みづくり<br>・                                  |        |        |        |        |        |    |
| 集落規模では担えない課題への対応<br>・                                   |        |        |        |        |        |    |

## 5, 参考資料

### (1) アンケートの結果

- |   |      |                       |                     |
|---|------|-----------------------|---------------------|
| 1 | 調査期間 | 令和4年6月30日(木)～7月27日(水) |                     |
| 2 | 調査対象 | 行政区長                  | 11区⇒回答6区：回答率55%     |
|   | ①    | 公民館長                  | 14公民館⇒回答3公民館：回答率21% |
|   | ②    | 構成団体                  | 21団体⇒回答6団体：回答率29%   |
|   | ③    | 老人クラブ                 | 41人配布⇒回答37人：回答率90%  |
|   | ④    | 花小PTA                 | 158人配布⇒回答61人：回答率39% |

#### ① 行政区長・公民館長

【調査の視点】活動の中で把握していり地域課題や困り事などを吸い上げる

【調査方法】書面にて記述方式で回答を得る

| 1：災害への備えの考え                                        | 回 答             | 件 数 |
|----------------------------------------------------|-----------------|-----|
| 自分の地域の気になる点(弱み)                                    | 大雨時、災害の規模が心配    | 6件  |
|                                                    | 住宅前後の、ため池や堤防が怖い | 3件  |
| 2：地域のつながりの場として<br>どんな場がありますか                       | 回 答             | 件 数 |
| 自分の地域の気になる点(弱み)                                    | 空家が多い・子どもが少ない   | 1件  |
|                                                    | コロナ感染等による参加が心配  | 1件  |
| 3：地域への参加促進には<br>どんな方法がありますか                        | 回 答             | 件 数 |
| 自分の地域の気になる点(弱み)                                    | 若者の集まりがない       | 2件  |
|                                                    | 防災セミナーの開催が少ない   | 1件  |
| 4：より良い地域づくりを目指すためにモリウシ等が行うべきことは<br>何だと思いますか (自由記述) |                 | 件 数 |
| 興味を引く様なイベントの開催                                     |                 | 2件  |
| 役員高齢化の解消(理事定数削減と年齢構成の若返り)                          |                 | 1件  |
| 部会の集約化と他組織との一本化                                    |                 | 1件  |
| 5：若者の参加促進のためにどんな方法があげられますか<br>(自由記述)               |                 | 件 数 |
| 日頃から集落の役割等を積極的に受ける                                 |                 | 1件  |
| 親子教室開催の強化                                          |                 | 1件  |
| 未婚者同志の出会いの場の創出                                     |                 | 2件  |
| 市民センターを中心としたサークル等を作る                               |                 | 2件  |
| 6：自分の地域がどのような地域になることを望んでいますか<br>(自由記述)             |                 | 件 数 |
| ゴミの落ちてない清潔感のある地域                                   |                 | 1件  |
| 笑顔で挨拶できる明るい地域                                      |                 | 1件  |
| 役員高齢化の解消(理事定数削減と年齢構成の若返り)                          |                 | 1件  |

## ② 構成団体

【調査の視点】 各団体、組織が日頃の活動で把握していり地域課題や困り事などを  
吸い上げる

【調査方法】 書面にて記述方式で回答を得る

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 1：構成団体の中での困りごと（自由記述）        | 件 数 |
| 代表者のなり手不足                   | 5件  |
| 会員の減少と高齢化                   | 3件  |
| 2：活動の中での困りごと（自由記述）          | 件 数 |
| コロナ禍で活動が制限される               | 5件  |
| 3：モリウシ希望ネット花泉と、行政への要望（自由記述） | 件 数 |
| 充て職の解消                      | 1件  |
| 他の協働体との情報交換                 | 1件  |
| 市長との懇談会の設定                  | 1件  |
| 部会の集約化                      | 1件  |
| なし                          | 2件  |

## ③ 老人クラブ

【調査の視点】 生活での困り事など

【調査方法】 花立泉学級などへ書面にて記述方式で回答を得る

|                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活での困り事はなんですか？（自由記述）                                                                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・草取りが大変なのでボランティアか有償で作業して欲しい。</li> <li>・コロナ禍で近所付き合いが少なくなり安否確認が出来ていない。</li> <li>・近所とのつながりが希薄になっている。</li> <li>・買い物をする場所が少ないし、移動手段の確保にも困る。</li> <li>・災害時なのに備え、高齢者の見守り体制を強化して欲しい。</li> </ul> |

|                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生活の中で、今後、不安な事はなんですか？（自由記述）                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族の健康面に不安があり前向きな気持ちになれない。</li> <li>・コロナ禍で近所付き合いが少なくなり安否確認が出来ていない。</li> <li>・自分と家族の健康に不安があり前向きな気持ちになれない。</li> <li>・若者の出会いの場が無い。</li> <li>・働く場所が少なく若者が地元に残らない。</li> </ul> |

④ 花泉小学校PTA

【調査の視点】 学校以外での生活についての実態把握、地域参画に偏りある本音を知る

【調査方法】 花泉小学校の連絡配信メール安心でんしょばとで回答を得る

地域での活動で参加して良かった事は何ですか？（自由記述）

- ・ 保護者同士の交流も出来て学校の行事にも参加しやすくなった。
- ・ 地域の方々日も関わりが出来た。
- ・ 他の小学校の友達が出来た。
- ・ スポ少に入って学年の小学校も違う友達が出来た。
- ・ スポ少に入って心身ともに成長した。
- ・ 子ども教室で昔の遊びが受け繋がれるのは良いと思った。
- ・ 子ども教室で体を動かしたり、工作をしたり、親だけで出来ないことをして貰って感謝です。

地域での活動で、あなたが負担だと感じたり、目的や意味合いが不明確だと感じている事業、行事等がありますか？（自由記述）

- ・ PTAの役員になっている人で参加しない方がいる。
- ・ 子供会の役員が負担。
- ・ 高齢者の参加が難しくなっても作業する範囲は変わらず負担が多い。
- ・ 廃品回収の仕分けの負担が大きい。
- ・ 参加者を労働力だとしてとしている。内容によってはお金を払って業務委託や、万が一に備えて保険や責任の所在を明確にしてほしい。
- ・ 地区民運動会は無くて良い。
- ・ 地区全体が参加出来て楽しいのであれば、ですが一部の部の人達だけやっている行事は参加が辛い。
- ・ 参加する人は役員と毎回同じ人なのでは。
- ・ 学校行事以外の活動は負担が増えるので、止めて欲しい。
- ・ 集落のお祭りに立つのは練習の負担が大きいので止めて欲しい。
- ・ 市民センター祭りを子供たちが楽しめるようにしてほしい。

## (2) 集落懇談会の結果

### 開催日程

| 開催日      | 時間          | 場所                       | 参加人数             |
|----------|-------------|--------------------------|------------------|
| 7月4日（月）  | 19：00～20：30 | 花泉市民センター 和室<br>（金森地区）    | 20名              |
| 7月5日（火）  | 19：00～20：20 | 花夢パルドリームホール<br>（駅前・中村地区） | 11名              |
| 7月27日（水） | 19：00～20：25 | 花泉市民センター 和室<br>（清水地区）    | 8名               |
| 7月28日（木） | 19：00～20：00 | 奈良坂生活改善センター<br>（奈良坂地区）   | 16名              |
| 計：4回     |             | 4会場                      | 延べ 56名参加<br>他役員等 |

### 主な意見

※令和4年度新しく出た意見をまとめました

#### ①地区活動

（交流・趣味・教養・施設）

- ・ コロナ禍で近所との交流が少ない。
- ・ イベント参加者が固定されている。
- ・ 盆踊り、花火大会、互市をやって欲しい。
- ・ 市民センターに、老人憩いの場を作って欲しい。
- ・ 地区民運動会は、参加者が固定しているため負担も大きいと思う。
- ・ 移動介護や訪問介護の講習会を開いて欲しい。
- ・ 年代的に、若い方達が参加したいと思う講座が少ない。
- ・ 花泉駅の無人化について、ストーブを設置して欲しい。
- ・ 花泉駅のトイレ管理者への賃金見直しが必要だと思う。
- ・ 新小中学校周辺の河川敷を整備して欲しい。

#### ②福祉

（医療・少子高齢化人口減少・子育て・教育）

- ・ 花泉診療センター、医師が常駐していない事により不安がある。
- ・ 夜間の医療体制を考えて欲しい。
- ・ 小学校の跡地利活用について校庭に太陽光パネル設置してはどうか。

#### ③安心安全

（道路・環境・防災・防犯）

- ・ 狭い道路もあり、スピード出す車が多くて危ない場所がある。
- ・ 新花泉小学校は、通学距離に関係なくスクールバス通学にして欲しい。
- ・ 消防団体が少なく、消火活動に支障がある。

#### ④仕事・産業・観光

（仕事・農業・商業）

- ・ 米作りの一連の流れが知りたい。
- ・ 若者の働く場所がない。

#### ⑤文化

（歴史・伝承・芸術）

- ・ お宝マップを参考に若い人達にも受け継いでもらいたい。
- ・ 清水公園（館山）を管理して活用してはもらいたい。

#### ⑥スポーツ

（スポーツ）

- ・ 地区民運動会の開催の意味が不明になっている。



## (2) 「モリウシ希望ネット花泉」規約・構成図

### モリウシ希望ネット花泉規約

(名称)

第1条 この会は、モリウシ希望ネット花泉（以下「本会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、協働の理念に基づいて、住民自らが地域の将来像を考え、その実現に向けて行動することにより、支え合いの仕組みが実践される住みよい地域社会を形成することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域づくり計画の策定及び推進に関すること
- (2) 地区内住民や各種団体等によるまちづくりの推進や、連絡調整に関すること
- (3) 地区課題の把握とその解決に関すること
- (4) 公共団体及び各種団体への協力、受託、支援に関すること
- (5) その他目的を達成するために必要なこと

(構成員)

第4条 本会の構成員は、地区内の住民、各種団体及び地区内に事業所等を置く法人をもって構成する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監 事 2名

- 2 本会に理事27名以内を置き、会長、副会長、監事に於いては、理事を推薦委員とし総会に諮り、承認を得るものとする。
- 3 理事は、会長、副会長、専門部長及び別表第1に掲げる地区内各種団体等の推薦を受けた者（以下、被推薦者という）をもって構成し、総会の承認を得るものとする。
- 4 会長、副会長、専門部会及び被推薦者の兼任は妨げない。
- 5 上記の兼任に伴う理事の補充は行わない。
- 6 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 7 欠員により補充した役員の任期は、前任者の残任期間を務めるものとする。
- 8 役員は、任期満了後も後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(役員の任務)

第6条 会長は、本会を代表し会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代理する。
- 3 理事は、理事会を構成し、会務を執行する。
- 4 監事は、会計及び会務を監査し、これを総会に報告する。

(総 会)

第7条 総会は、毎年1回会長が招集し開催する。ただし、会長が必要と認めるときは臨時に開催することができる。

- 2 総会は、代議員制としその構成は別表第2に掲げる地区内各種団体から推薦された者で構成する。ただし、代議員は、理事と兼ねることはできない。
- 3 総会の議長は、その総会において出席した代議員の中から選出する。
- 4 総会は、代議員の過半数をもって成立し、議事は出席者の過半数で議決する。ただし、可否同数の場合は、議長がこれを決する。
- 5 総会には、次の案件を付議するものとする。
  - (1) 規約の改廃に関する事
  - (2) 地域づくり計画の承認に関する事
  - (3) 事業計画及び収支予算の承認に関する事
  - (4) 事業報告及び収支決算の承認に関する事
  - (5) 理事の承認及び監事の選任に関する事
  - (6) その他、理事会において必要と認められる事

(理事会)

第8条 理事会は、会長が必要と認めるとき開催する。

- 2 理事会の議長は、会長が務める。
- 3 理事会には、次の事項を協議するものとする。
  - (1) 総会に付議する事項
  - (2) 総会の決定に基づく事業の執行に関する事項
  - (3) 事業計画及び収支予算の決定に関する事項
  - (4) 地域づくり計画の策定に関する事項
  - (5) 会長、副会長の選任に関する事項
  - (6) 専門部の設置に関する事項
  - (7) 事務局に関する事項
  - (8) その他会長が必要と認められる事項

(専門部)

第9条 本会に専門部を設置することができる。

- 2 専門部の設置に関する事は、理事会で定める。

(事務局)

第10条 本会に事務局を設置し、一関市花泉町花泉字天王沢沖109-1に置く。

- 2 事務局には事務局長及び事務局員を置き、理事会の承認を得て会長が任命する。
- 3 事務局長は、会務を処理し、事務局を総括する。

(経費)

第11条 本会の経費は、会費、助成費、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(役員の報酬)

第13条 役員等に対して報酬を支給することができる。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める役員等の報酬に関する規定による。

(その他必要な事項)

第14条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は理事会に諮り会長が別に定める。

#### 附 則

- 1 この規約は、平成27年2月15日から施行する。
- 2 第5条の規定に関わらず、設立時における役員は、花泉地区まちづくり協議会(仮称)設立準備会が選考し、設立総会により承認を得る。
- 3 本会の設立当初の役員の任期は、第5条第5項の規定にかかわらず、設立の日から平成27年度の総会までとする。
- 4 本会の設立当初の収支予算は、第12条の規定に関わらず、設立の日から平成27年3月31日までとする。
- 5 この規約は、平成28年6月7日から施行する。(一部改正)
- 6 この規約は、平成29年6月7日から施行する。(一部改正)
- 7 この規約は、平成30年5月22日から施行する。(一部改正)
- 8 この規約は、令和元年5月23日から施行する。(一部改正)
- 9 この規約は、令和2年5月31日から施行する。(一部改正)
- 10 この規約は、令和3年5月25日から施行する。(一部改正)

〔別表第1〕（第5条第3項関係）

| 地区内各種団体等の名称       | 人数 | 備 考 |
|-------------------|----|-----|
| モリウシ希望ネット花泉会長、副会長 | 3名 |     |
| 集落公民館長等           | 5名 |     |
| 花泉地区行政区長          | 5名 |     |
| 花泉地区民生児童委員協議会     | 1名 |     |
| 花泉地区福祉推進協議会       | 1名 |     |
| 花泉地区体育協会          | 1名 |     |
| 花泉地区自主防災会         | 1名 |     |
| 一関市立花泉小学校PTA      | 1名 |     |
| 花泉地区婦人会           | 1名 |     |
| 花泉駅前婦人会           | 1名 |     |
| 花泉地区老人クラブ連合会      | 1名 |     |
| モリウシ希望ネット花泉専門部長   | 6名 |     |

※ 役が重複しても、理事は1票とする。

※ 申し合わせ事項

集落公民館長等および地区行政区長互選の基準は、清水、金森、中村、駅前、奈良坂から各1名とする。

〔別表第2〕（第7条第2項関係）

| 地区内各種団体等の名称及び役職名      | 人 数 |
|-----------------------|-----|
| 清水原集落公民館              | 1 名 |
| 上在郷集落会                | 1 名 |
| 清水集落公民館               | 1 名 |
| 第3区集落公民館              | 1 名 |
| 中金森集落公民館              | 1 名 |
| 下金森集落公民館              | 1 名 |
| 郷ノ目集落公民館              | 1 名 |
| 上中村集落公民館              | 1 名 |
| 下中村集落公民館              | 1 名 |
| 花泉駅前町内会               | 1 名 |
| 日向集落公民館               | 1 名 |
| 小山沢集落公民館              | 1 名 |
| 西風集落公民館               | 1 名 |
| 大又集落公民館               | 1 名 |
| 花泉地区行政区長              | 6 名 |
| 花泉地区民生児童委員協議会         | 1 名 |
| 花泉地域保健推進委員協議会         | 1 名 |
| 花泉地区福祉推進協議会           | 1 名 |
| 花泉地区体育協会              | 1 名 |
| 花泉地区自主防災会             | 1 名 |
| 一関市立花泉小学校PTA          | 1 名 |
| 一関市立花泉中学校花泉地区PTA      | 1 名 |
| 一関市立花泉中学校駅前地区PTA      | 1 名 |
| 花泉小学校スポーツ少年団          | 1 名 |
| 花泉地区婦人会               | 1 名 |
| 花泉駅前婦人会               | 1 名 |
| 花泉地区老人クラブ連合会          | 1 名 |
| 一関市消防団花泉地域第3分団        | 1 名 |
| 花泉町婦人消防協力隊第4分隊        | 1 名 |
| 一関地区交通安全協会花泉支会花泉分会    | 1 名 |
| 一関地区交通安全協会花泉母の会       | 1 名 |
| 一関地区交通安全協会駅前母の会       | 1 名 |
| 花泉地区農家組合長協議会          | 1 名 |
| J Aいわて平泉女性部花泉中央支部花泉支部 | 1 名 |
| 花泉中央振興商店街協同組合         | 1 名 |
| 花泉地区農林連絡員             | 1 名 |
| はずみ会                  | 1 名 |

# モリウシ希望ネット花泉組織構成図

